

アジアにおける短寿命気候強制力因子の動態・影響解析



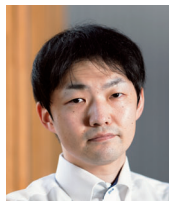
0001110

キーワード 大気汚染、気候変動、大気化学輸送モデル、気象モデル、
Land use regression モデル

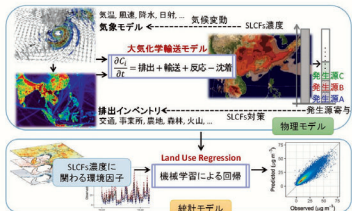
嶋寺 光 SHIMADERA Hikari

環境エネルギー工学専攻 准教授

環境システム学講座 共生環境評価領域 近藤研究室



ここがポイント!【研究内容】



- 大気環境において健康影響、気候変動の両面で重要な、微粒子状物質 (PM_{2.5})、対流圏オゾン (O₃) などの短寿命気候強制力因子 (SLCFs) について研究しています。
- 大気中の物理・化学過程を詳細に表現する大気化学輸送モデルを用いて、SLCFsの発生源が集中するアジアを対象に、SLCFsの動態・影響や発生源寄与を解析しています。
- 健康影響評価のために、大気化学輸送モデルと機械学習を用いた統計モデル (Land use regression モデル) の統合によるSLCFs濃度の高精度推計手法についても開発しています。

応用分野 大気環境、健康影響、気候変動

論文・解説等

- [1] Thongthammachart T. *et al.*, *Atmos. Environ.*, 262, 118620, 2021.
 [2] Nguyen G.T.H. *et al.*, *Atmos. Environ.*, 226, 117398, 2020.
 [3] 嶋寺 光, 大気環境学会誌, 54(1), 9-17, 2019.

連絡先 URL

<http://www.see.eng.osaka-u.ac.jp/seeea/seeea/index.htm>

